

自分ごとと化会議中間まとめ

～第1班 環境保全～

以下は、私たち第1班の会議参加者が、議論してきたことや、各回で記載した「改善提案シート」の内容を中心にまとめたものです。

課題

1. 自治会加入率の減少に伴い、地域活動への自治会の負担が大きくなっている。コミュニティやライフスタイルの変化を踏まえつつ、市民の地域活動の関わり方、自治会の活動内容を再考する。

課題

2. ごみステーションの利用方法（マナー等）や管理体制（管理者の明確化やごみ出し困難な住民へのサポートなど）を改善していく。

課題

3. 河川や水路の環境整備や清掃活動に、より多くの市民が関わるような動機づけの方法を検討する。

課題

4. 西山は手入れ不足による森林や竹林、放置竹林の拡大など様々な課題を抱えている。自然豊かな西山の保全活動の推進がより図れる仕組みを検討する。

1. 自治会加入率の減少に伴い、地域活動への自治会の負担が大きくなっている。コミュニティやライフスタイルの変化を踏まえつつ、市民の地域活動の関わり方、自治会の活動内容を再考する。

	それぞれの課題	解決する方法
個人	① 地域活動や自治会の活動などの情報の知り方。	A) 地域のつながりを大切にする。 B) 自治会がどのような活動をしているのかを知り、活動に参加してみる。
	② 単身者向けのマンション・アパートに住んでいる人は、自治会にどう入会したらいいのか分からない人がいる。	C) 市へ気軽に相談し、自治会加入のメリットを整理・検討してみる。 D) 色々な世代に合わせた周知を工夫する（若者にはSNS等で魅力を発信する。）
地域	① 地域での活動の担い手が不足しており、役員などの担い手となる人たちの負担感が増している。	A) サークル的な活動や、自治会に入っていない人のために、体験入部のような取り組みを行う。
	② 活動の内容の中に必要性を感じられないものや、非効率的な内容があり、前例踏襲で実施している。	B) 新しく地域にきた人、若者世代へ自治会に入るメリット・必要性を理解してもらう。（メリットを作る）
	③ 自治会行事の参加者は増えず、防災訓練などは形骸化している。	C) 自治会に加入するメリットが、加入しないメリットよりあるのかを考え、加入するメリットを説明できるようにする。
	④ 子どもや高齢者だけでなく、各世代が魅力を感じられる活動がない。	D) 1度自治会を抜けても、再加入しやすいシステムにする。
	⑤ 自治会や地域コミュニティ協議会の	E) 自治会以外に有志で何か始める。クラブ活動等。
	⑥ 集合住宅が多く建ってきており、どんな人が住んでいるのか把握できておらず、地域の繋がりがますます薄れてきている状況である。	F) 参加するための動機づけが必要。 G) 子どもまたは老人だけでなく、各世代が魅力を感じれる活動をする。 H) 地域住民での助け合いの必要性、会長だけが重責にならないコミュニティなどの構築。 I) 防災訓練や市民運動会の実施時期・方法などを見直す。 J) 思い出に残る取り組みをする。

**その他
(民間)**

① アパートやマンションの販売会社や管理会社は、居住者の自治会のことまでは考えていない。 A) アパートやマンションの販売会社や管理会社は、居住者の自治会のことまでは考えていない。

① なんでも自治会任せになりがちである。 A) 自治会を含めた市民活動団体への補助金を見直す。

② 転入者に対する自治会等の説明は、転入手続きの際に市民課窓口で渡されるチラシのみであり不十分である。 B) 転入者への自治会案内をする際、転入手続き時にチラシを渡すだけでなく、自治会担当部署が積極的にメリットを説明し、自治会へのパイプ役となる。

行政

③ 自治会に入るとどんなメリットがあり、どのような負担があるか、きちんと知られていない。 C) 各自治体の魅力や活動を、特集する。

④ 自治会等の情報は、基本的にチラシやHP、広報誌等で個人に対して行われており、マンションの管理会社など民間企業を巻き込んだものになっていない。 D) 自治会の仕組みや活動を発信する。

E) これからも新築マンションが増えていくと思うので、自治会と管理会社・管理組合が協力して加入を呼びかける。

【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】

(ア) 行政から自治会への依頼事項を見直し、シルバー人材センターなど民間に任せることと、自治会でやることの整理し、自治会の負担を減らし、補助金を見直す。

2. ごみステーションの利用方法（マナー等）や管理体制（管理者の明確化やごみ出し困難な住民へのサポートなど）を改善していく。

	それぞれの課題	解決する方法
個人	<ul style="list-style-type: none"> ① 分別がきちんと行われていない。分別にないものは全て燃えるゴミにしている。 ② ごみを出す時間帯などのルールを守らない人が目立つ。 ③ 高齢者や障がい者など、通常のごみ出しが困難（重いゴミ袋を運べない、ごみステーションが遠いなど）な方やごみの分別がわからない方がいる。 ④ 地域貢献に対する若者の優先度が低い。 ⑤ 環境美化（地域清掃やごみ問題）活動に、参加する余裕がない。 ⑥ 不用品は全てごみとして廃棄する。 ⑦ 割り箸をたくさん使う。 	<ul style="list-style-type: none"> A) 環境への理解を高める。 B) なぜ分別しないといけないのか学び、分別のルールを知る。 C) ごみステーションは、我が家のごみ置き場であるとの意識を持ち続ける。 D) 常に5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）の精神でステーション管理に努める。 E) 近所の高齢者世帯と日常から関係を構築し、ごみ出しを手伝う。 F) 買い物にはエコバックを持参する。 G) 牛乳パックや卵パックなどリサイクルできるものは分別項目に入れる。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ① 分別がきちんと行われていない。分別にないものは全て燃えるゴミにしている。 ② ごみを出す時間帯などのルールを守らない人が目立つ。 ③ 高齢者や障がい者など、通常のごみ出しが困難（重いゴミ袋を運べない、ごみステーションが遠いなど）な方やごみの分別がわからない方がいる。 ④ 地域貢献に対する若者の優先度が低い。 ⑤ 環境美化（地域清掃やごみ問題）活動に、参加する余裕がない。 ⑥ 不用品は全てごみとして廃棄する。 ⑦ 割り箸をたくさん使う。 	<ul style="list-style-type: none"> A) 環境への理解を高める。 B) なぜ分別しないといけないのか学び、分別のルールを知る。 C) ごみステーションは、我が家のごみ置き場であるとの意識を持ち続ける。 D) 常に5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）の精神でステーション管理に努める。 E) 近所の高齢者世帯と日常から関係を構築し、ごみ出しを手伝う。 F) 買い物にはエコバックを持参する。 G) 牛乳パックや卵パックなどリサイクルできるものは分別項目に入れる。
その他（民間）	<ul style="list-style-type: none"> ① 	<ul style="list-style-type: none"> A) シルバー人材センターと連携してステーションを管理する。 B) お店への過剰包装を控え、お弁当の器をプラスチックから紙に変更するように依頼する。

-
- | | | | |
|---|--|----|--|
| ① | ごみステーションの管理方法が地域によってバラバラ。 | A) | 地域（自治会）と連携し、ごみステーションの維持管理体制を明確にする。 |
| ② | カラス等の動物によりごみステーションが荒らされる。 | B) | ごみステーションの利用やごみの捨て方などを継続的に啓発する。 |
| ③ | 当該ステーションを利用できない他の地区の人が、車などで捨てに来るとい
悪質なルール違反も存在している。 | C) | 自治会と連携して、ごみステーションの適正化を検討する（現行の設置基準だけではなく、高齢者の多い地区も検討材料にする）。 |
| | | D) | カラス等の動物による被害対策のため、ドア付きまたは蓋つきのごみステーションに替えるための費用を補助する。 |
| | | E) | 防犯カメラを設置し、ルールやマナーに違反する人を監視する。 |
| | | F) | 定期的にパトロールを実施する。 |
| | | G) | 個人や地域では対応できない悪質な場合に、行政から指導をする。 |
| | | H) | 毎年各世帯に配布される「ごみ減量のしおり」にごみステーションの利用ルールや違反行為に対する勧告や罰則等についても明記し、住民に周知徹底する。 |
| | | I) | ごみ収集ルールの変更を検討する（ごみ収集車が通る自宅の近くの道路沿いにごみを捨てる）。 |
-

行政

【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】

(ア)

3. 河川や水路の環境整備や清掃活動に、より多くの市民が関わるような動機づけの方法を検討する。

	それぞれの課題	解決する方法
個人	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎年小畑川クリーン作戦、530運動には参加しているが、その日だけの活動となってしまう。 ② 雑草が生い茂り、ごみを捨ててもわからない。ペットボトル、レジ袋等によって環境が著しく悪化している。 	<ul style="list-style-type: none"> A) 身近にある小川(風呂川)や側溝の美化・防災意識を持ち続ける。 B) 自分が利用する道路・側溝の安全・安心・防災意識を持ち続ける。 C) 利用道路・側溝の劣化や破損箇所の発見と情報収集に努める。 D) 独りで掃除できることはする。マナーの悪い人には注意する(ゴミやたばこ等をポイ捨てする人)。 E) 普段から地域の美化を意識し、独りでもできる範囲でゴミを拾う。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ① 掃除作業に参加できない人がいる(高齢者・障がい者等)。 ② 小畑川クリーン作戦、530運動は、年間行事の1つとして実施しているだけで、環境美化の意味・必要性を感じない。 ③ 河川や水路の保全是、地域として取り組むきっかけがない。 ④ 安全に安心して歩けない人がいる(高齢者や障がい者等)。 	<ul style="list-style-type: none"> A) 地域や行政で掃除作業の支援をする(隣人愛による助け合い、シルバー人材センターの活用)。 B) 参加者への啓発。 C) 行政と一体化して、年4回程度でも清掃活動を行う。 D) ボランティアで毎月河川浄化活動。 E) 地域や行政で該当者の支援をする(災害時要配慮者支援制度の活用等)。道路・側溝の劣化や破損箇所(危険・注意)情報の公開(見える化)。
その他(民間)	<ul style="list-style-type: none"> ① 河川周囲の美化活動を実施している団体が少ない。 ② 道路・側溝工事の手抜き業者がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> A) 市民と一緒に美化活動を行う。 B) 事業者は決まり事を遵守する。地域は行政へ指導を要請する。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ① 日ごろから地域住民や組織(自治会や民児協等)とのコミュニケーションを密にして情報共有と活動連携に努める。 ② 河川は、広域すぎるので把握しにくい。 ③ 蚊がたくさんいる。 	<ul style="list-style-type: none"> A) 環境学習を学校の授業(月に1回位)に組み込む。 B) 防災マップの充実を図る。 C) 小川や側溝の維持・整備を促進する。 D) 環境保全是ボランティアと連携しながら整備し、清浄されたところを、ビフォー・アフターとして写真をSNSなどにア

ップする。

E) 河川消毒を行う。

【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】

- (ア) ボランティア精神を持った実行力のある前向きなリーダーまたは個人と連携する必要がある。
- (イ) 小畑川を開放する日、例えば、年間数日はバーベキューOKとかにすると、関心が集まり、若者、家族での参加が増えるのではと思う。
- (ウ) 学生などを巻き込んで、ボランティア養成講座を市民団体と連携して行い、ボランティア活動の場を市が整える。

- 西山は手入れ不足による森林や竹林、放置竹林の拡大など
 4. 様々な課題を抱えている。自然豊かな西山の保全活動の推進がより図れる仕組みを検討する。

	それぞれの課題	解決する方法
個人	① 高齢化して、手入れのできていない竹林がある。 ② 竹藪を広く持っているが、手入れが十分でない。	A) 個人の所有地で勝手に手入れができない。仲間を集めて、所有者の許可を得て手入れする。 B) 筍畑を広げる努力。
地域	① コロナ禍で、自由に行動できることができず、集まって作業することが難しい。 ② 放置竹林が増加している。	A) オンライン会議やSNSなどを活用して、協議を進めていく。 B) シルバー人材センターに依頼して竹を切る。
その他(民間)	① 森林ボランティアが十分機能していない。	A) 福祉施設(作業所)と共同して、手入れを行い、竹を使った商品づくりを行う。 B) ボランティアでは対応しきれない。
行政	① 個人所有地なので指導が難しいのでは。 ② 西山の放置竹林の広がりが止まらない。	A) 荒れている竹林の状態を把握し、福祉事業所と連携して、様々な商品を制作してもらい、長岡京市のアピールグッズに活用していく。 B) 行政からの資金援助。

【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】

(ア) ボランティアだけでなく、福祉施設も活用しながら、障害のある人にも社会参加の機会を作る。

【その他の課題 1】

・エコ建築の普及

(個人の課題と解決する方法)

住宅の寿命自体が 30 年くらいだと導入しにくい。価格が高くなり決断しにくい。

→市・国からの補助金。

(行政の課題と解決する方法)

エコ建築のメリットが市民に伝わっていない。

→市民への啓発。

【その他の課題 2】

・公園の遊具の少なさについて

(個人の課題と解決する方法)

学齢期前の子どもや親が遊ぶ。

(地域の課題と解決する方法)

子どもたちが安全に遊べるように見守る。

(行政の課題と解決する方法)

どこの公園にどんな遊具があるのかをマップで知らせる。

(その他民間等の課題と解決する方法)

遊具設置のための資金の提供。

(自由記載)

環境問題の解決に向けて取り組むことで、教育、福祉、防災などの問題解決につながっていけると思います。